

広島県知事

湯崎英彦



知事略歴

昭和四十年十月四日 広島県生まれ
 平成二年三月 東京大学法学部卒業
 平成二年四月 通商産業省入省
 平成七年六月 スタンフォード大学経営学
 修士
 平成十二年三月 通商産業省退官
 平成十二年三月 株式会社アッカ・ネット
 ワークス代表取締役
 平成十二年十二月 株式会社アッカ・ネット
 ワークス代表取締役副社長
 平成二十年三月 株式会社アッカ・ネット
 ワークス取締役退任
 平成二十一年十一月二十九日 広島県知事

広島県知事の湯崎英彦です。よろしくお願ひ申し上げます。

昨年十一月末の就任以来、県民の皆様のご期待と変革への期待に応えるべく、スピード感と挑戦心をもって全力で職務に取り組んでいます。

これまで短い期間ですが、県政の重要課題を機動的に意思決定する経営戦略会議の設置を始め、記者会見の週一回の定期開催や、市町に赴き県民の皆様と直接対話する「湯崎英彦の宝さがし」、公開形式による「事業仕分け」の実施など、県庁が一丸となって、変革のための新しい挑戦を始めています。

新たな活力を生むために挑戦する

これからの広島県を考えると、二十年後の人口が約一割、特に生産年齢人口が約二割減少することが予測され、若者の県外流出も十年以上続いています。このままでは、広島県の経済の規模は大幅に縮小し、それに応じて県の財政

も大幅に落ち込むこととなります。成熟化、人口減、あるいは高齢化が本格的に進む時代の入口に差し掛かったところで、広島県をあらゆる側面で活性化させていくことが重要と考えています。

私は、ピンチをチャンスに変えるという発想で、広島県の力を最大限引き出し新たな活力を生むため、「人づくり」「新たな経済成長」「安心な暮らしづくり」「豊かな地域づくり」「行政運営刷新」という五つの挑戦を行ってまいります。

そして、前向きな姿勢が良い成果を生み、良い成果を生んだら、その結果、更に前向きになっていくという「正のスパイラル」で、「広島県はどこに行っても、どの分野でも活発だ」と実感してもらえ、県を築きたいと考えています。

広島県の力と宝を生かす

広島県には、競争力ある産業と大小さまざま

な企業の集積、蓄積された技術、優れた人材、世界的にも恵まれた自然環境、世界遺産など、先人たちが挑戦し築き上げてきた、世界に誇れる力や宝がたくさんあります。

瀬戸内海の多彩な資源を活用して幅広い観光関連産業の振興を図る「瀬戸内海の道一兆円構想」や、イノベーションを通じて新たな産業の芽や新たな企業を育ていく「広島版産業革新機構」など、既に取組みを始めているものもありますが、これから私のマニフェストの具体化の作業を行っていく中で、これら広島県の力や宝を掘り出して、更に磨いて、本来の力を最大限に引き出すことで、新たな活力の創出につなげてまいります。

県民の皆様と広島県を変える

広島県が本当に変化していくためには、一人、あるいは県庁だけの頑張りでは足りません。県民の皆様が必要です。県内の隅々に至るまで、自らの問題意識を持って一歩前に踏み出そうとしている人たちが、挑戦しようとしている人たちを応援し、一緒に、新たな時代を切り拓く広島県づくりに取り組むたいと考えています。そして、私はその動きのリーダーシップを取ってまいります。

さらに、県政運営に当たり、県職員一人ひとりに、県民起点、現場主義、成果主義を徹底するとともに「起業家精神」あるいは「創意工夫」といった前向きな意識を醸成し、県庁全体が一丸となって、同じ目標に向かって挑戦する、新しい県庁を目指してまいります。

そうして、広島県全体に挑戦心と呼び戻し、未来に向け変革に挑み続けることで、「広島県に生まれ、育ち、住み、働いてよかった」と心から思える広島県を、県民の皆様とともに築き上げてまいります。